

国立大学法人大阪教育大学学長候補者選考基準

令和7年6月10日

国立大学法人大阪教育大学学長選考・監察会議

国立大学法人大阪教育大学は、我が国の先導的な教育大学として、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成を通して、地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命としている。このため、本学学長には次の資質・能力を有し、本学の教育研究活動を適切かつ効果的に運営できる者であることを望む。

1. 次期学長に求める資質・能力

- 人格が高潔で、学識が優れ、高い倫理観を有し、我が国の先導的な教員養成大学としての教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有すること。
- 本学の未来を切り拓くための明確なビジョンを持ち、急速に変化する社会の要請に迅速に対応した大学改革・運営を行うことができる視野の広さと、卓越した企画力・決断力・実行力を備えていること。
- 本学の最高責任者として教職員を指揮監督する立場と責任を自覚し、大学構成員とのコミュニケーションを円滑に行い、その意欲と創意を引き出し、全構成員を牽引する強力なリーダーシップを有すること。
- 学内外において、良好な信頼関係と協働体制を構築するとともに、本学の存在感及び特色と魅力を発揮するための明確なビジョンを提示する発信力を有すること。

2. 対応すべき課題

- 経営基盤を強化するため、必要となる収入の確保を図るとともに、支出の見直し、組織体制の検討を行うこと。その際、IRを有効に活用するとともに、組織体制の検討にあたっては、ガバナンスが有効に機能する体制とすること。
- 教員養成フラッグシップ大学構想を確実に実行するとともに、指定期間終了後も、引き続き、教師の育成を先導し、教員養成の在り方自体を変革し続けることができる体制を構築すること。
- みらい教育共創館を活用し、産官学連携の取り組みを進めることにより、本学の教育・研究の質を向上させ、その成果を社会に発信すること。また、本学のグローバル戦略を推進し、国際的な視野を持ち活躍できる人材の育成等を図ること。
- オンラインを活用した新たな教育モデルを構築し、本学のフラッグシップ特例科目や教職科目を教育課程等に係る特例制度を活用した連携開設科目として他大学へ展開することにより、我が国の教員養成の強化に資するとともに、教育委員会と連携した新たな現職教員研修の仕組みを構築することで、国立教員養成大学としての責務を果たし、併せて本学のプレゼンスの向上を図ること。
- 博士課程の着実な運営を行うとともに、博士課程と連携する臨床的研究シンクタンクを設置し、教育現場の改善に資する研究成果を社会へ還元し、教育改革を牽引すること。
- 附属学校園について、公私立とは異なる存在意義・役割・特色を明確にした上で、入学希望者減少、働き方改革、施設老朽化など、多岐にわたる課題への対応を踏まえた諸改革を確実に実行すること。